

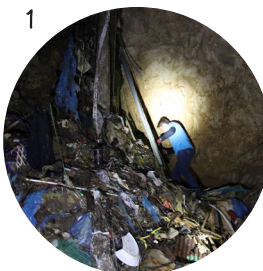
# ちなみに、

えりきみの「えり」こと、勸里絵利奈です。子どもたちは夏休みが始まりましたね！各地で自然災害が多い今年の夏。沖永良部島でも、毎週のように台風が当たっています。十分に気を付けて、楽しい夏を過ごしましょう！



「えりなさん、知名字の中に洞窟があつてね、昔は防空壕として使っていて、自分たちが小さい頃はよく中で遊んでいたんだよ。今はどうなっているかなあ」知名字に長く住む七十代の方が教えてくれました。よし、それなら見に行ってみよう！と、地域の何人かで見に行ったのが運の尽き。生い茂った藪の中を潜り地上から五メートル程下りた地点にあつたワクワクするような洞窟と一緒、その中に積もり積もつたゴミの山を発見してしまいました。見なかつたことにしようか、でも、このゴミの山が無くなつたら、もしかしたら地域にとつて再び大切な場所になるかもしれない。その後も何度か現場を確認したものの、想像だけでは話が進まない、まずは一度、地域清掃の中でゴミの撤去に臨んでみようかと決まりました。

そして、七月二十二日。七十名程の地域の皆さんと、定例の草刈りと分担して洞窟の清掃作業を行いました。中のゴミを集めてバケツリレーの要領で外に出し、クレーンで地上に上げて、ゴミの分類をする。エライことに付き合わせられている：という、皆さんの心の声が聞こえてくるようでしたが、入口がだいたい奇麗になり、地上からでも洞窟の存在がわかるようになりました。とは言え、半日の作業で撤去できたのは「四十五リットルのゴミ袋五十二個」と「十一本のタイヤ」と「冷蔵庫やシンクなどの粗大ゴミ」。中にはまだまだ途方に暮れる量のゴミが残っています。今後どうしていくかは改めて検討するのですが、皆さんに二つお願いがあります。一つ目は、この洞窟の活用方法を一緒に考えてくれませんか。ただゴミを撤去するだけでは、私たちも頑張る力が保てません。地域の人のつとめてこの場所があつて良かったと思えるような場所になつたら良いなと思つています。そしてもう一つ。ポイ捨てや不法投棄は止めましょう。昔はゴミを山や洞窟に捨てても問題なかつたかもしれませんが、今の製品は、埋めても自然に還らない素材が多いんです。一人一人の気持ちの良い心がけを、よろしく願います。私も気を付けます！



1 洞窟は横穴。ゴミを踏みつつ奥まで進めます。 2~5 撤去作業中の様子。お疲れ様でした！ ※最近、タイで洞窟内に閉じ込められる事故がありました。この場所はまだ安全性の確保が出来ていません。お一人で行かれることのないようお願いいたします！